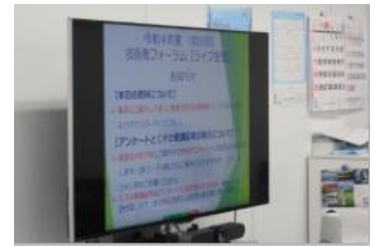


名 称	令和4年度 技術者フォーラム (ライブ配信)		
実 施 日	令和4年12月9日(金)	実施場所	建設コンサルタンツ協会関東支部 会議室
参加者数	115名 (会員101名 (30社)、非会員1名 (1社)、行政2名、委員会事務局11名)		
実施目的	<p>技術委員会の主催で、第31回目の技術者フォーラムを開催した。技術者フォーラムでは、会員企業に対して、最新の話題や関心が高い事項に対してテーマを設定し、基調講演やパネルディスカッションを行っている。今年度は、『グリーンインフラの推進と建設コンサルタンツの将来展望 ～持続可能な国土利用と管理～』をテーマとして、建設業界の動向、国土交通省や自治体の取り組み事例を紹介し、建設コンサルタンツの将来展望について意見交換を行った。</p>		
実施概要	<p>1. 開催概要</p> <p>本フォーラムは、令和4年12月9日(金)13時～17時に下記プログラムに沿って開催した。新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、Zoomを活用したライブ配信での開催となった。</p> <p>フォーラムでは、リバーフロント研究所、国土交通省、横浜市から講師を招き、グリーンインフラについて講演と、取り組み事例の紹介を行った。その後、建設コンサルタンツ協会の専門委員会の委員を加えて意見交換会を実施した。なお、機器操作のトラブルを避けるため聴講者との質疑応答は行わなかった。</p>		
プログラム	<p>1. 開会挨拶 13:00～13:05 (一社)建設コンサルタンツ協会 関東支部 支部長 中村 哲己</p> <p>2. 第Ⅰ部 講演「グリーンインフラの社会実装に向けて」 13:05～14:20 (公財)リバーフロント研究所 主席研究員 中村 圭吾様</p> <p>3. 第Ⅱ部</p> <p>講演①「みんなで一緒にあらかわろう！ ～ウェルビーイング(健康)な荒川の実現＝DX×ミズベ・グリーンコミュニティ×SDGs～」 国土交通省関東地方整備局 荒川下流河川事務所 事務所長 出口 桂輔様</p> <p>講演②「横浜市における流出抑制に資するグリーンインフラの実装と連携」 横浜市環境創造局政策調整部 政策課 下水道政策調整担当係長 近藤 太一様</p> <p>14:20～15:30</p> <p><休憩> 15:30～15:45</p> <p>4. 第Ⅲ部 意見交換「グリーンインフラの推進と、建設コンサルタンツの将来展望について」</p> <p>司 会 (一社)建設コンサルタンツ協会 関東支部 企画部会 関根 秀明 参加者 (一社)建設コンサルタンツ協会 関東支部 環境専門委員会 渡邊 敬史 河川専門委員会 伊藤 英恵</p> <p>オブザーバ (公財)リバーフロント研究所 主席研究員 中村 圭吾様 国土交通省関東地方整備局 荒川下流河川事務所 事務所長 出口 桂輔様 横浜市環境創造局 政策調整部 政策課 下水道政策調整担当係長 近藤 太一様</p> <p>15:45～16:50</p> <p>5. 総括・閉会挨拶 16:50～17:00 (一社)建設コンサルタンツ協会 関東支部 技術部会長 新井 伸博</p>		
2. フォーラム内容	<p>(1) 開会挨拶：(一社)建設コンサルタンツ協会 関東支部 支部長 中村 哲己 主催者側を代表し、支部長より、フォーラム開催の背景、目的について趣旨説明を行った。また、開催にあたりご協力いただいた講師の方に対して、謝意が述べられた。</p>		



(2) 講演「グリーンインフラの社会実装に向けて」：(公財) リバーフロント研究所 主席研究員 中村 圭吾様
グリーンインフラの社会実装に向けて、自然資本や生物多様性について世界で起きていること、グリーンインフラとは何か、社会実装に必要なツールについて、解説して頂いた。



(3) 講演「みんなで一緒にあらかわろう！ ～ウェルビーイング（健康）な荒川の実現＝ DX × ミズベ・グリーンコミュニティ × SDGs ～」：国土交通省関東地方整備局 荒川下流河川事務所 事務所長 出口 桂輔様
荒川下流事務所における取り組みについて、事務所の概要、事務所の理念、国土交通分野におけるグリーンインフラについて説明頂き、河川改修をもとにした自然再生、自然地管理アダプト制度などの取り組み事例について、紹介して頂いた。



(4) 講演「横浜市における流出抑制に資するグリーンインフラの実装と連携」：
横浜市環境創造局 政策調整部 政策課下水道政策調整担当係長 近藤 太一様
横浜市におけるグリーンインフラの位置づけ、これまで実施してきた取り組み事例、今後の展開について紹介して頂いた。



(5) 意見交換：「グリーンインフラの推進と、建設コンサルタンの将来展望について」

司 会：建コン関東支部 企画部会 関根 秀明氏

参加者：建コン関東支部 環境専門委員会 渡邊 敬史氏、河川専門委員会 伊藤 英恵氏

オブザーバ：リバーフロント研究所 中村 圭吾氏、荒川下流河川事務所 出口 桂輔氏、横浜市 近藤 太一氏

意見交換会は、①グリーンインフラを建設コンサルタンツ協会会員が展開可能とするためのキーワードの共有、②グリーンインフラを促進させるための方法の共有、③建設コンサルタンツ協会の価値向上に向けた協会の取り組みへの道筋の共有について意見交換した。

①について「定量評価は大切であるが評価疲れとなっては本末転倒」「重要なのは地域の方に感謝してもらうこと」「運用はとにかくやってみる」、②について「市民の声を行政に分かりやすくする必要がある」「地域が良くなることが重要」、③について「とにかくまずは何かやる」「一コンサルでは難しいので協会、団体で行うことが必要」との意見をいただいた。



(6) 総括：(一社) 建設コンサルタンツ協会 関東支部 技術部会長 新井 伸博
新井部会長より今回のフォーラムについて総括するとともに、開催にあたりご協力いただいた講師の方に対して御礼を述べた。また、グリーンインフラを進めるにあたり、建設コンサルタンのこれまでの仕事の仕方では十分でなく、地域に密着した仕事の仕方が必要との感想をいただいた。



3. アンケート結果

講習会終了後に、講習会の内容やオンライン開催について質問するアンケートを Web 方式で実施した。結果概要を下記に列挙する。

- ・参加者の年齢は、20代から50代にかけて概ね均等な参加であった。
- ・参加者の性別は、男性が8割、女性が2割であった。
- ・所属部門については、技術系が9割を占めており、分野別では河川・道路・環境が多い。
- ・実務経験年数は、5年未満と26年以上が多く、中間層の出席が少ない傾向となっていた。
- ・過去の技術者フォーラムへ参加したことのある人が約1/4いた。
- ・参加経緯は、テーマに興味を持った人が45%と約半分いた。残りは仕事に役立つと上司の勧めが同程度となっていた。
- ・テーマについては、良いと普通で100%となっており、好評な結果となった。
- ・講演や意見交換会については、勉強になった、参考になったなど意見が大半を占めた。知っている範囲の話であった、意見交換会へ参加できないことが寂しいなどの意見があった。
- ・フォーラムの時間は、適当であったとの回答が85%、長すぎるが14%となっており、概ね適切な時間との認識であった。1名時間が足りないとの意見があった。
- ・参加費は、普通との回答が80%、安いのが17%で概ね適切な金額設定の認識であった。
- ・参加費の負担は、会社負担が83%、自己負担が17%であった。
- ・画像については、良いと普通で97%となっており、概ね問題ないものであった。
- ・音声については、良いと普通で95%となっており、概ね問題ないものであった。意見交換会の際、マイクがONになった参加者がいたため、その際の音声が悪かったとの意見があった。また、主催者側でマイクをOFFにできるのでは？との意見もあった。
- ・WEB開催については、今後もWEBを望む方が62%、WEBと会場の併用を望む方が39%となった。
- ・フォーラムの形式については、講演会式を望む方が50%、パネルディスカッション式が25%、発表会式が15%、座談会式が8%との意見であった。また、懇親会の開催を望む方が4名いた。
- ・開催時期については、10月が41%、11月が29%、12月が17%となった。その他の時期としては、夏の開催を望む声が多かった。
- ・開催時間については、今回同様の午後のみとの意見が84%と多く、次いで短くしてほしいが10%となった。